



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：柏木寛照

えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成17年 **2** 月号
No.165

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

第162回通常国会開会 会期150日、6月19日閉会予定



第百六十二回国会開会式記念 参議院自由民主党 平成17年1月21日

提出できるか、郵政民営化関連法案

1月21日に開会された第162回通常国会は、会期150日、6月19日に閉会の予定である。

今国会に提出されるのがはっきりしている法律案は83件、条約9件で、今後さらに14件の法律案、13件の条約が提出される予定である。この他に、議員提案による法律案も予想される。

今国会で最も注目される重要法案は、郵政民営化関連法案。民営化をめくっては、政府と自民党との考え方は大きく違っており、3月中旬に法案が提出できるのか今なお不透明である。先の党大会での大会アピールで、強く実現を主張した教育基本法の改正も与党間の調整が難航、雲行きが怪しい情勢となってきた。序盤国会での論戦は、政治と金の問題が中心となってきたが、自民党も、民主党を中心とする野党も、お互いの揚げ足取りと非難・暴露合戦で、どう見ても国権の最高機関でのやり取りとは思えない。金の問題は民主党にとっても一番攻めやすい問題かも知れないが、政権を狙う政党としては、いささか低次元の感じがしないでもない。国会では、野党・与党双方とも、もっと国の将来のあり方、形をどうするのか、そんな深い問題について論戦を展開してほしい。

平成16年度補正予算事業別(地区別)割当額調書

2月1日参議院本会議にて成立した平成16年度補正予算の内容です。

(事業費として(単位:千円))

Table with 3 columns: Category, Item, Amount. Rows include various projects like '公営住宅等建設事業', '森林環境保全整備事業', etc., categorized by region like '※京都府', '※京都市', etc.

国会議員年金制度 大胆な改革案
なお、特権的と強い批判、若手議員から廃止論も

昨年夏の参議院選挙は年金問題が大きな争点となった。

国会議員の国民年金への未加入・未納問題が次から次へと明らかになり、国民の年金制度に対する不信と不安はかなり大きな広がりを見せている。そんな中で、厚生年金保険料は、平成16年10月から、毎年0.35%ずつ増額され、最終保険料は現在の13.58%から18.30%になる。

保険料は労使が半分ずつ負担するとは言え、この不況下での負担増は、労使双方にとつてかなりの痛みを伴う。平均的サラリーマンの保険料負担額は、毎年約1万円ずつ増えることになる。しかも将来、現在約束された支給額が絶対に保証されるとは限らない。

国民の年金に対する強い不信と不安だけでなく、それが政治への信頼を著しく損ねる結果を招いている。

年金改革論議の中で、国会議員の年金制度が批判の対象となった。国会議員は10年間在職すれば、年間42万円の年金が支給される。これはあまりにも特権的な制度だと非難された。国民に理解と納得を得られる年金制度改革は、急を要する課題となった。

平成16年6月、衆参両院議長の下に設けられた調査会では、18回にわたって検討を重ね、今年1月に両院議長に対して、国会議員の年金制度見直し案を提出した。見直し案は、年金保険料を約70%増やす、支給

額は約30%減らすという大胆な案で、国会議員にとつては厳しい内容となっているが、マスコミや国民からは今なお特権的だという批判が強い。

この見直し案に対して参院自民党は、国会議員年金制度を廃止し、全額国庫負担の退職金制度を創設して、1年毎に250万円を加算するという案を発表した。又、自民党若手議員の中でも、子供の養育費等、生活費に結構お金が必要なので、毎月多額の保険料を支払うのは耐えられない。しかも、この見直し案にも強い批判があるのなら、思い切つて廃止しても良いのではないかと、いう声もあがっている。

国会議員に年金制度が必要なのかどうか、随分前から議論が交わされている。国会議員を目指す人が、年金などを当てにしているのが間違っていると主張する人もいれば、引退後、国会議員経験者としてある程度の生活の保証がなければ、金持ちの人しか議員になれない等、色々な意見がある。

調査会の見直し案

Table with 3 columns: Item, Current, Revised. Rows include '月毎の年金料', '期末手当分料', '年間総保険料', '受給資格年数', '支給年金年額', '国庫負担率'.

府内4ヶ所で谷垣大臣を囲む会 二之湯議員、2日間同行

1月22、23の両日、谷垣財務大臣は忙しい公務の合間を縫って選挙区に帰った。

22日は綾部市で自民党主催の「国政報告会」、23日は京丹後市大宮町、与謝郡野田川町で、「谷垣大臣を迎えるの新年互礼会」、舞鶴市では自民党舞鶴支部主催の「国政報告会」が開かれた。新年互礼会は恒例となっているが、久しぶりの大臣の選挙区入りで、両会場とも多くの人々で盛況であった。



新年互礼会(京丹後市)で挨拶する二之湯議員

二之湯議員は4会場とも大臣に同行し、大臣の登壇前に前座をつとめ、「谷垣大臣は国も地方も大変厳しい財政状況の中で、平成17年度の予算編成では、地方交付税を前年並に確保して、地方の声に耳を傾け、国債の発行を前年より少なくして、国の財政再建に真剣に取り組んでおられる。小泉首相は来年9月に自民党総裁を辞めると表明されたので、次の総裁には谷垣先生に是非なって頂き、この京都から芦田均先生に

次いで2人目の総理が誕生することを期待している。」と語った。

昨年三位一体改革をめぐって、谷垣大臣は地方自治体に対して、無駄使いが多い、もつと歳出削減に努力すべきだとかなり厳しい注文をつけていたが、さすがに地元ではそんな話には触れなかった。谷垣大臣は、日頃闘争心や顕示欲を表に出さない人であるが、4会場での話しぶりには、近い将来国政を担うという強い意欲が十分に感じ取れた。

韓国、台湾にビザ免除 愛知万博で観光客を誘致 心配な不法残留者の増加

日本政府は小泉内閣が推進している外国人観光客年間1千万人を目指す「ビジット・ジャパン」を実現するための施策として、訪日ビザの制度改善に取り組んできた。その一環として韓国、台湾、中国の修学旅行生に対するビザ免除を昨年から実施している。

今年3月25日から9月25日まで、名古屋市東部丘陵(長久手町、豊田市、瀬戸市)で21世紀万博「愛・地球博」が開催される。政府は万博への外国人観光客の誘致も含め、万博期間中に限り、韓国、台湾を対象にビザの免除を拡充することを決めた。中国に対しては、これまで団体観光ビザの発給地域を、北京市、上海市、広東省に限定していたが、平成16年9月15日から、天津市、江蘇省、浙江省、山東省、遼寧省まで拡大した。今後、大幅な観光客の増加が

期待される反面、不法残留者の増加も心配されている。多くの不法残留者は観光目的で日本に入国するが、かつてのように風俗業ばかりでなく、日本人が嫌がる3K職場(きつい・汚い・危険)に就く人が多いようである。不法残留者の摘発はなかなか難しく、観光客の増加とともに、益々不法残留者が増えることが予想される。

日本の治安の悪化とも密接に関連しているだけに、東南アジア諸国からの観光客増加は単純に喜んでばかりいられない。

二之湯氏、全国市議長会で講演 地方分権推進の先頭にと激励

2月3日、二之湯参議院議員はかつて会長を務めた全国市議会議長会評議員会に特別講師として招かれ「今、地方議会に望まれること」と題して、約40分間講演した。

二之湯議員は「国会議員になって初めて直面した大きな問題が、三位一体改革。この改革論議の中で、地方の立場・味方になって発言する議員がいかにか少ないかを痛切に感じた。このままだと地方主権、地方分権と騒いでいても、少しも進展しないのではないかと憂えている。」と訴え、地方議員、中でも全国741市の市会議長が立ち上がるれば、必ず地方主権・分権を勝ち取る事ができると奮起を促した。そのため、市会議長は1年毎に交代するといった悪しき慣例を止め、少なくとも2年間は務め、議長の権威を高め、その立場から地方主権・分権を推し進めてほしいと激励した。

早くも次期選挙の備え、 京都3、4区 現職・新人、ポスターで名前売込み

6年間の任期が保証されている参議院議員と違って、衆議院議員はいづれ解散があるかも知れず、常に選挙の備えをしておかなければならない。常在戦場といわれるのはこのためである。

京都3区から奥山茂彦氏の失った議席を回復するために立候補予定の府会議員清水鴻一郎氏、京都4区から野中広務氏の後継者として議席継承した田中英夫氏、現職、新人の違いがあっても、ともにまだまだ知名度不足である。清水氏は昨年末、田中氏は新年早々から大型のポスターを貼って名前の売込みに懸命である。2人とも厳しい選挙区だけに、事前運動に余念がない。

私と二之湯先生

城陽市社会教育委員長 澤田 榮

「えとす」1月号をお送り頂きましてありがとうございます。地方の政治にご尽力くださいましたお力を、国政の場で惜しみなく発揮されていることに敬服しながら拝読いたしました。思い返しますと、二之湯先生のお父様が、綴喜郡井手町の教育長でいらつしやった頃、私は井手小学校の教師でした。いろいろご指導賜りましたが、この場を借りまして心よりお礼申し上げます。

教育の場でのお父様と、国政の場での先生のお姿が重なってまいります。そして諸々のことが懐かしく思い出されます。その一つは、一九九六年(平成8年)、二之湯先生と行く「ナイアガラ瀑布。アメリカ東海岸10日間の旅」です。

お誘い頂き参加しました。中でも陸路美しく、ゆったりとしたニューイングランド地方を経由して、映画「サウンドオブミュージック」のモデルになったトラップ一家が経営するトラップファミリーロッジに宿泊しましたが、バスを降りると、兎やリスが私達一行を迎えてくれました。珍しい花が咲き乱れ、自然の中に建っているロッジは、お伽噺の世界に踏み込んだようでした。宿泊者の中では、日本人は私達だけでしたが、夕食の席では

「さくらさくら」や「荒城の月」などのメロディの生演奏を聞きながらいただきました。心のそこまで温まる宵でした。ニューヨーク、ワシントンへと足を運びましたが、バスの走行距離は2316kmに及びましたが、アメリカとカナダの雄大な自然を満喫する旅でした。この紀行文「ニューイングランドの自然」と題して、洛南タイムズに掲載して頂きましたが、「日程など詳しく教えてほしい」「行きたい」等お便りや、お電話を頂きましたが、この計画は二之湯先生がされたに聞きました。先生には会合などでお目にかかる時がありますが、何時もお声をかけていただき、この上もない光栄でございます。長い教師生活の中で、学校の発展と児童の幸せを祈る狭い狭い私でしたが、先生のお話や「えとす」等見聞することにより、社会や国政に関心を寄せるようになりました。今後共どうぞよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。



トラップファミリーロッジ(バーモント州ストウ)

歩くことは

健康の基本

第144回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日時：2月27日(日)
- ・出発時刻：午前8時30分(時間厳守)
- ・集合場所：地下鉄東西線六地蔵駅1番出口
JR六地蔵駅前広場(小雨決行)
- ・コース：六地蔵駅→旧町並→木幡小学校→東宇治高校→黄檗トンネル→黄檗公園→黄檗山万福寺→羽戸山→源氏物語ミュージアム→宇治上神社→宇治橋→解散
- ・誰にでも必ず来る若い、自分のため、家族のため健康に留意し貴方も歩こう会に参加しましょう。今回は地下鉄東西線の新しい六地蔵駅に集合して宇治方面の豊かな自然と名所を散策します。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758

第143回 みんなで歩こう湯歩会



平安神宮神苑入口前

身辺雑記

一、「えとす」の再発行は、多くの人々から歓迎された。早速購読料を振込んで下さる方もある。そんな人達の激励に支えられながら、苦勞ではあるが継続する覚悟である。又、そのことが公職にある者の責務でもある。

一、国会議員になって初めての正月を迎えた。新年早々から各地での新春互礼会に顔を出した。どこに行ってもかつての先輩が参加されているが、国会議員として上座に座らされることが多い。先輩を差し置いてという気持ちが強くと、何となく落ち着かない。一、今年4月から京都市への編入合併が決まっている京北町の石浦道男町長が、取締容疑で逮捕された。警察で取調べを受けているとの情報を聞いた時、全く信じられず驚いた。合併を心から祝福する一人として、合併直前にこんな事件が起きて誠に残念なことである。

一、注目されたイラクでの国民議会選挙は投票率60%以上を超えた。投票所へ行くのにまさに命がけであるのに、投票行動によって自らの国づくりに立ち上がったイラク人の勇気をたたえたい。それに比べ、我が国の各種選挙の低い投票率は情けない。

一、政治家は健康が大事。年末に市民病院で健康診断をしてもらった。心配していた通り、ヘモグロビンと尿酸値が高いという結果が出た。余程、自己管理に努めないと、将来糖尿病と痛風になる恐れがある。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい
年間購読料 1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228
・皆様のご意見をお寄せ下さい

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>